

みんなが途方に暮れている時に、殿様は、

「こんな方法は、どうだろう。米蔵の中にある米を全部出して、敵の兵士達のよく見える岩場から敵にさとられないように米粒を裏側より滝の様に落として見せたら、これを見た敵の兵士達はきつと滝だと思ふことだろう。そうすれば、水攻にしても、しかたがないとあきらめることだろう。こうすれば、お互いに血を流すこともなく治まるであろう。」

家来達は、殿様の知恵に感心して賛成したんだと。

早速、米蔵より米俵を出して裏山へかつぎあげて、敵軍にみやぶられないように準備したんだと。

米俵を開けて、「ザツザツ、サラサラ」と滝のように見せかけ落としたら、この様子を遠くから見守っていた敵の軍勢は、

「殿様、大変です。表の岩場には、小さな滝が見えます。いくら水攻めをしてもしようがねえです。」